

神戸市地域公共交通網形成計画における数値目標の進捗について

1. 現況値

指 標	基準値	進捗 (小数点第一位まで表示)	目標値
目標1 まちづくりの方針をふまえた公共交通ネットワークの維持・充実			
公共交通分担率	31% (平成22年度)	34.1% ※1 (令和2年度)	35% (令和7年度)
目標2 都市の魅力を高める公共交通ネットワークの形成			
都心・観光地での交通手段利用割合 (公共交通および徒歩・自転車の利用割合)	68% (平成27年度)	71.1% (平成31年度)	75% (令和7年度)
目標3 地域のくらしを支える公共交通ネットワークの形成			
地域コミュニティ交通導入の支援地区数	4地区 (平成27年度)	計11地区 (平成28～令和2年度)	計30地区 ※2 (平成28～令和7年度)
目標4 安全・安心で誰もが利用しやすい交通環境の形成			
ユニバーサルデザインの推進 (鉄道車両の車内・車外案内表示の多言語化(市内で完結する路線))	35編成 (平成27年度)	56編成 (令和2年度)	70編成 (令和7年度)
バス停留所のベンチ新設数	60基 (平成27年度)	計150基 (平成28～令和2年度)	計500基 ※2 (平成28～令和7年度)
市内公共交通機関の利用に関する市民満足度 ※5段階評価 (アンケートにおいて「満足」「やや満足」と回答した人の割合) ※3	57% (令和2年度)	57.3% (令和2年度)	65% (令和7年度)

※1 令和2年度の数値は参考値(後述)

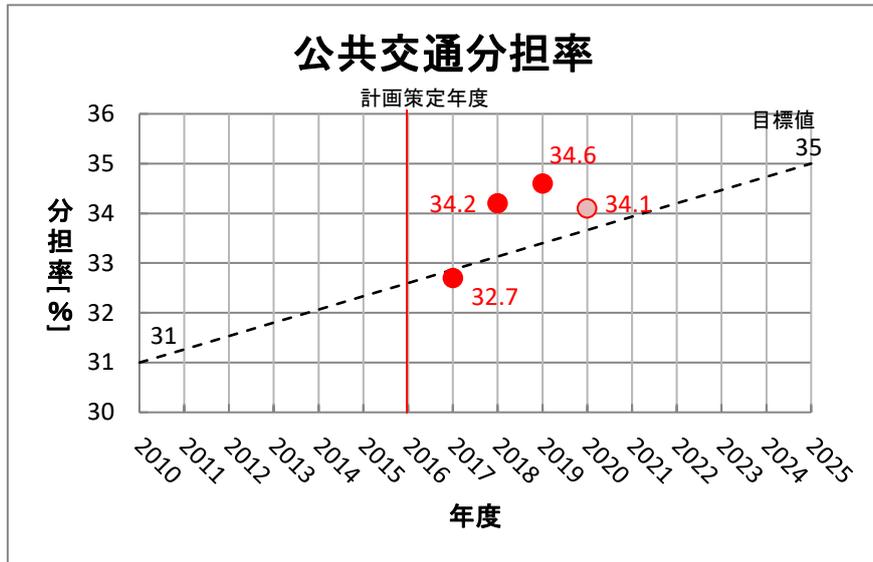
※2 平成28年度から令和7年度までの累計数

※3 市民満足度の数値目標は中間見直し時に追加

2. 進捗状況

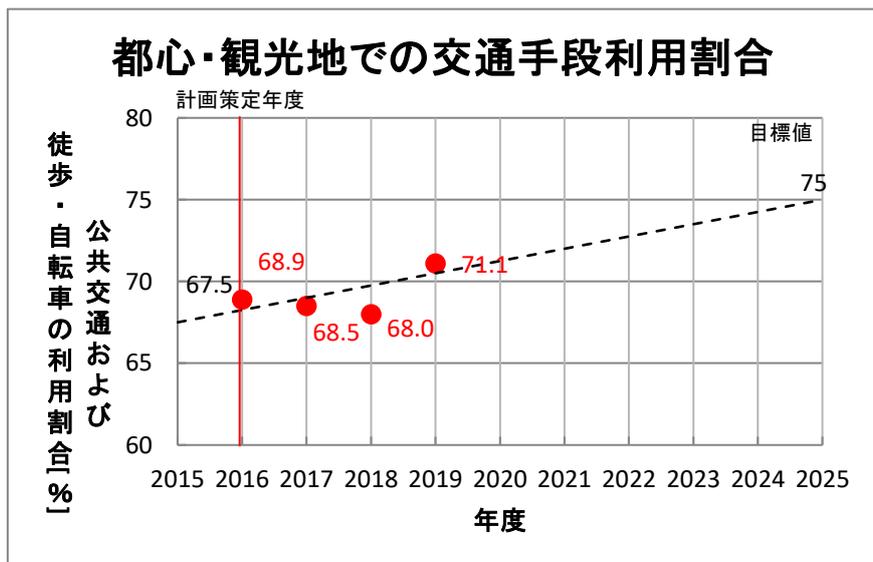
(1) 公共交通分担率

- ・令和2（2020）年度に実施したWEBアンケート調査をもとに、H22年度に実施した近畿圏PT調査結果を補正し、現況の交通手段分担率を算出する。
- ・なお、令和2年度の数値については新型コロナウイルス感染症の影響が予想されるが、従来の算出方法が年次を変数とした単回帰分析を採用していること、算出方法は策定当初から統一化しておくことが望ましいことなどから、参考値として公表する。



(2) 都心・観光地での交通手段利用割合

- ・神戸市経済観光局の実施する観光動向調査をもとに、都心・観光地における公共交通および徒歩、自転車の利用割合を算出する。
- ・2017年度より、観光動向調査の質問内容・回答方法が変更されていることに留意。
- ・なお、観光動向調査の結果が公表されるのは調査実施年度の次年度となる。



資料3

(3) 地域コミュニティ交通導入の支援地区数

- 平成 28 (2016) 年度から令和 7 (2025) 年度までの 10 年間で 30 箇所での支援を目標。

地域コミュニティ交通導入の支援地区数

年度	累計支援地区数(箇所)
2015	0
2016	5
2017	8
2018	10
2019	10
2020	11
2021	-
2022	-
2023	-
2024	-
2025	30 (目標値)

(4) ユニバーサルデザインの推進

- 令和 7 (2025) 年度までに、市内で完結する路線における鉄道車両の車内・車外案内表示多言語化を行う。

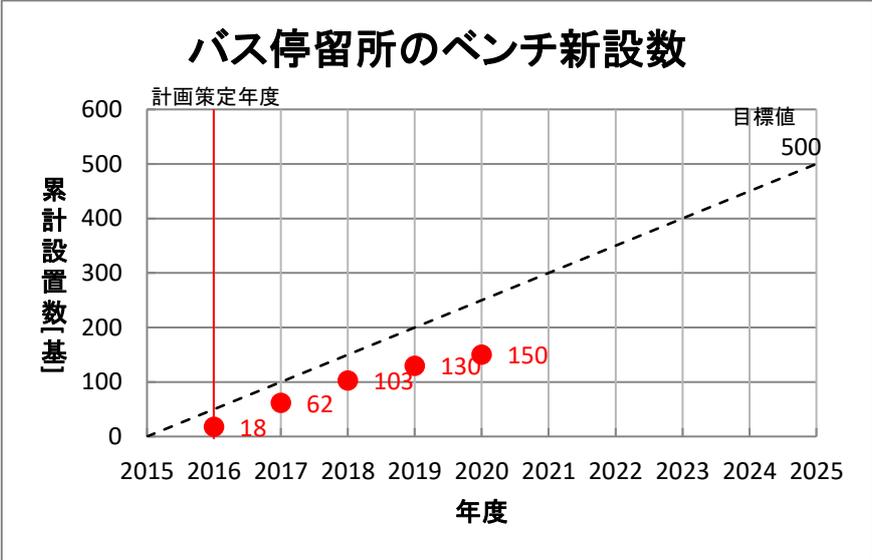
ユニバーサルデザインの推進

年度	累計車両数(編成)
2015	35
2016	35
2017	37
2018	42
2019	49
2020	56
2021	-
2022	-
2023	-
2024	-
2025	70 (目標値)

3

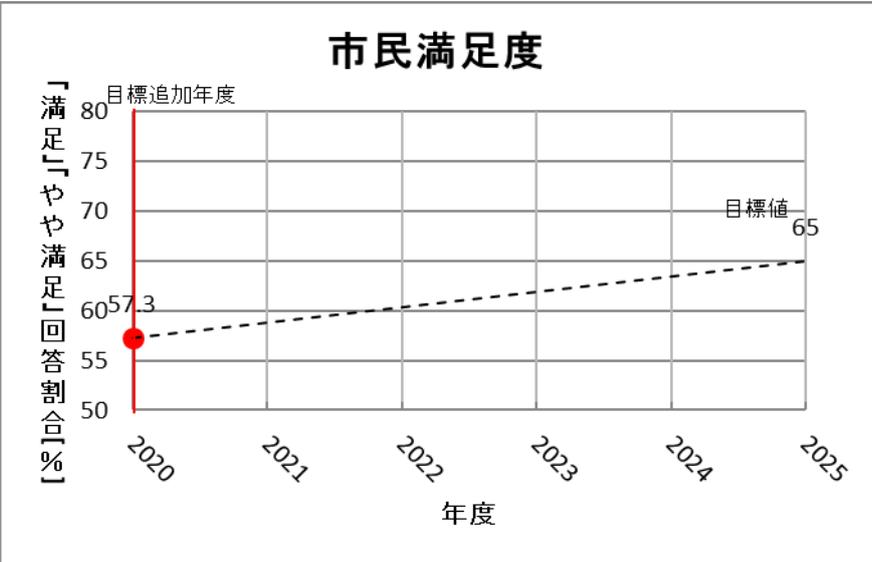
(5) バス停留所のベンチ新設数

・平成 28 (2016) 年度から令和 7 (2025) 年度までの 10 年間で 500 基のベンチ設置を目標。



(6) 市内公共交通機関の利用に関する市民満足度 (新規追加)

・市民アンケートにおいて「神戸市内の電車・バスやタクシーなどの公共交通機関の利用について、満足していますか。」の問に対し、「満足」「やや満足」と回答した人の割合が、令和 7 年度までに 65%となることを目標とする (5 段階評価)。



Q18_神戸市内の公共交通機関利用の満足度

n=1185

